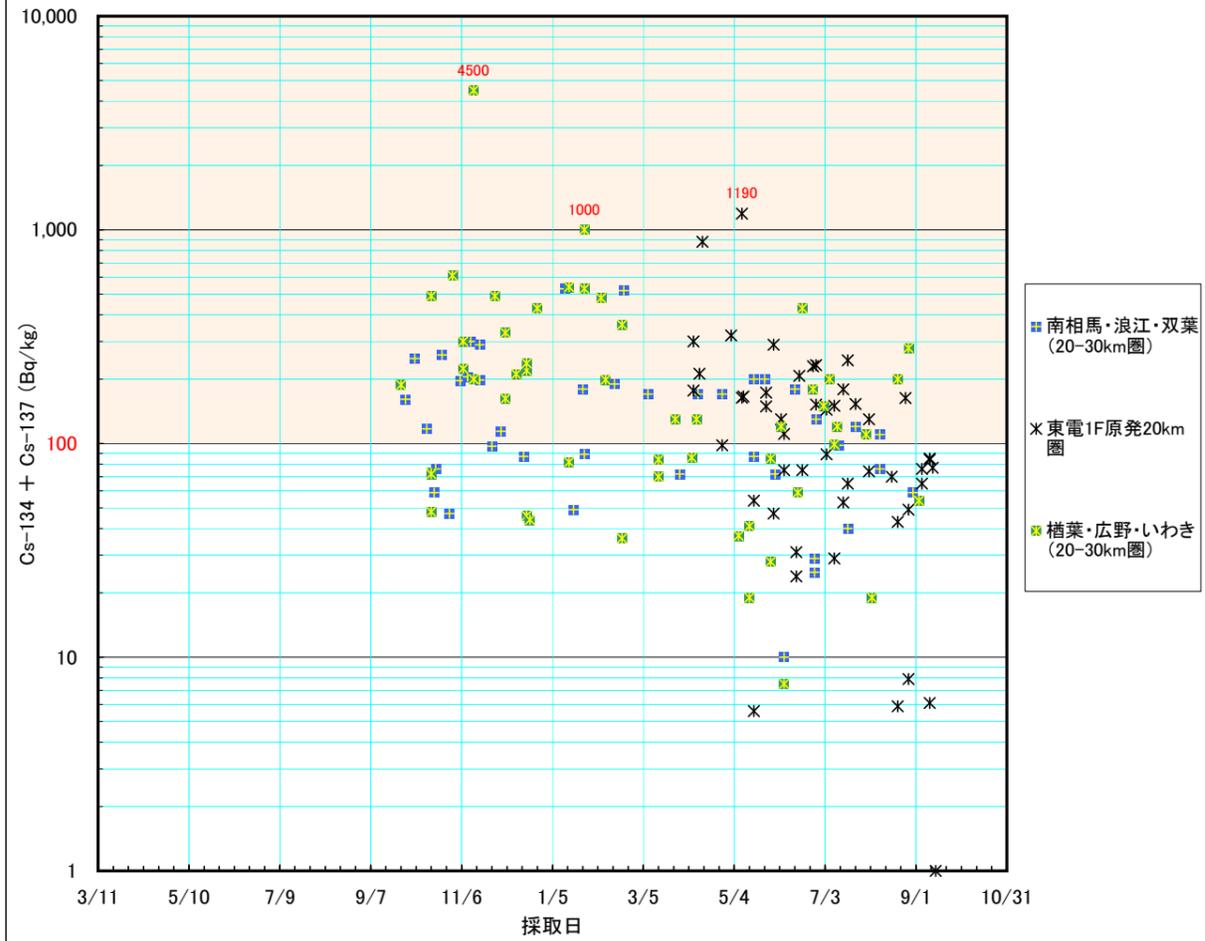
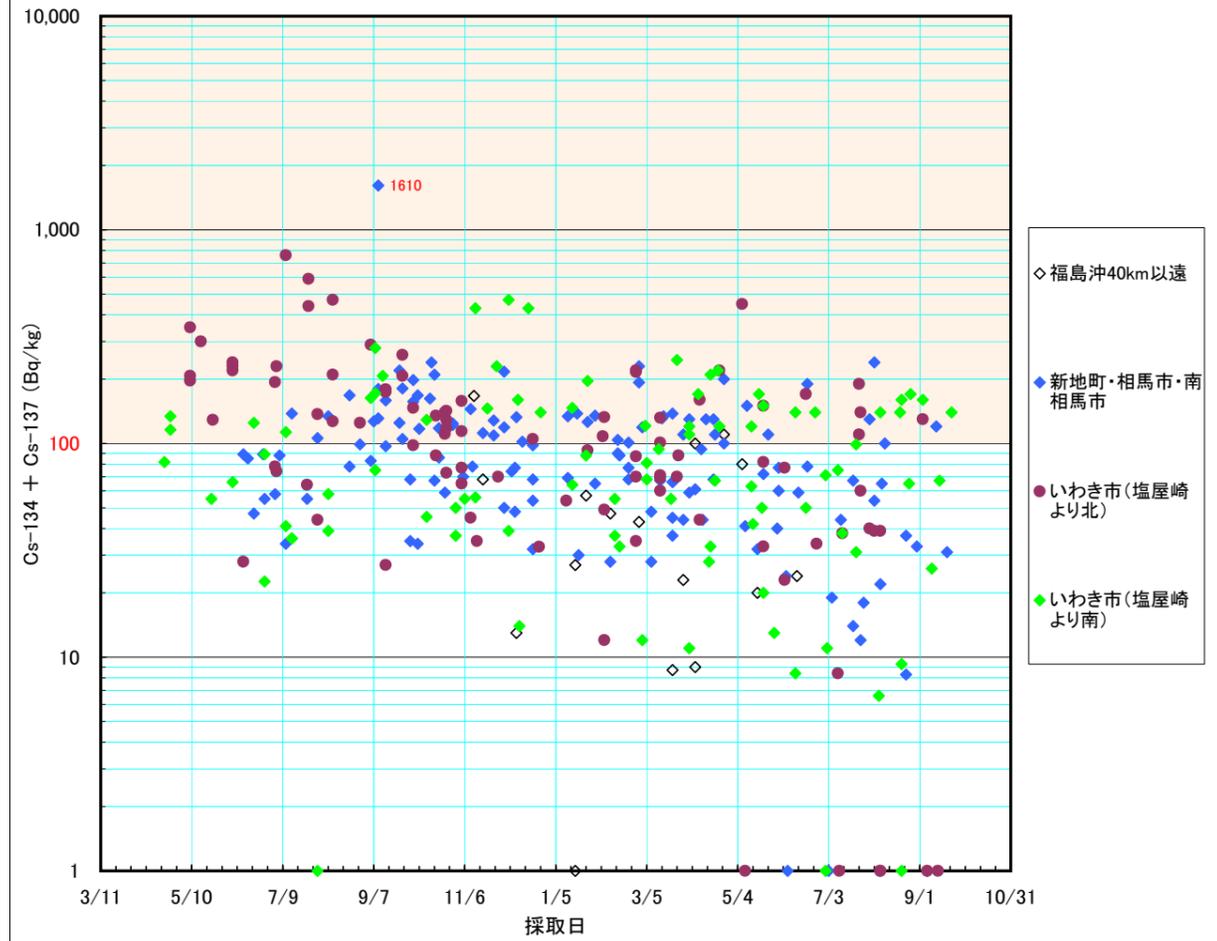


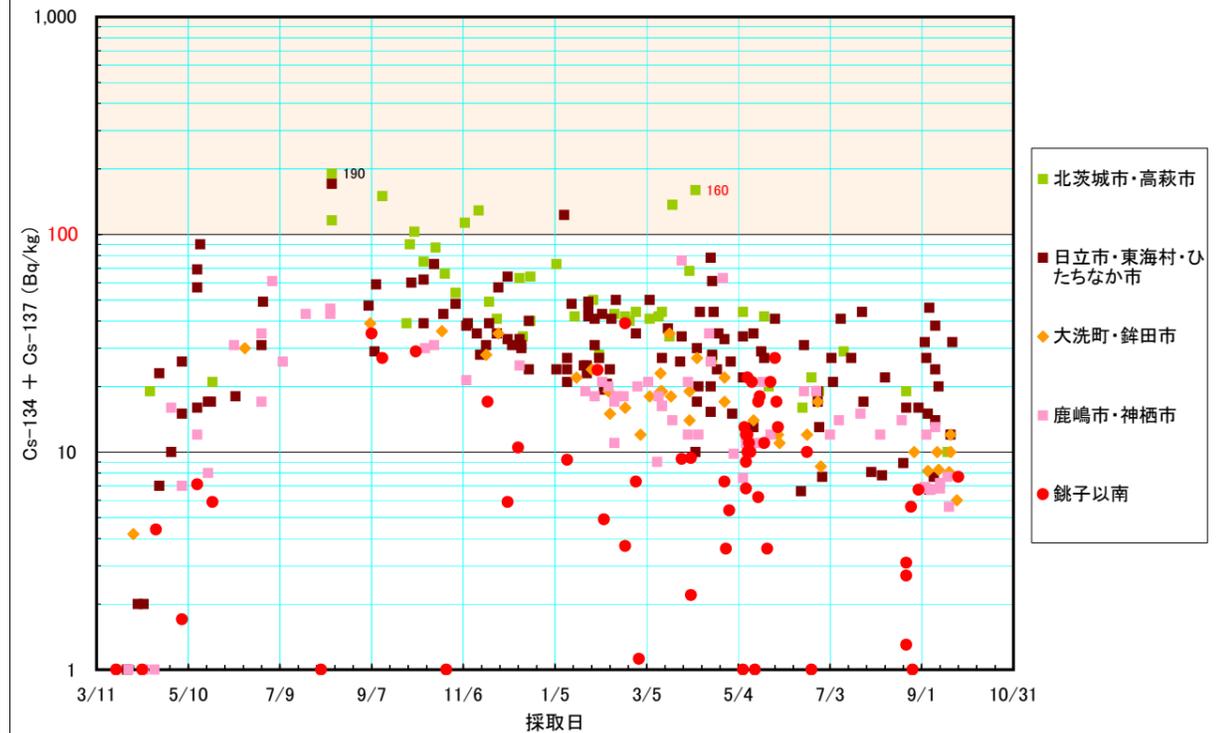
ヒラメ中のセシウムの放射能濃度（第1原発の30km圏内）（9/30公表分まで）



ヒラメ中のセシウムの放射能濃度（福島県沖、第1原発30km圏の外側）（9/30公表分まで）



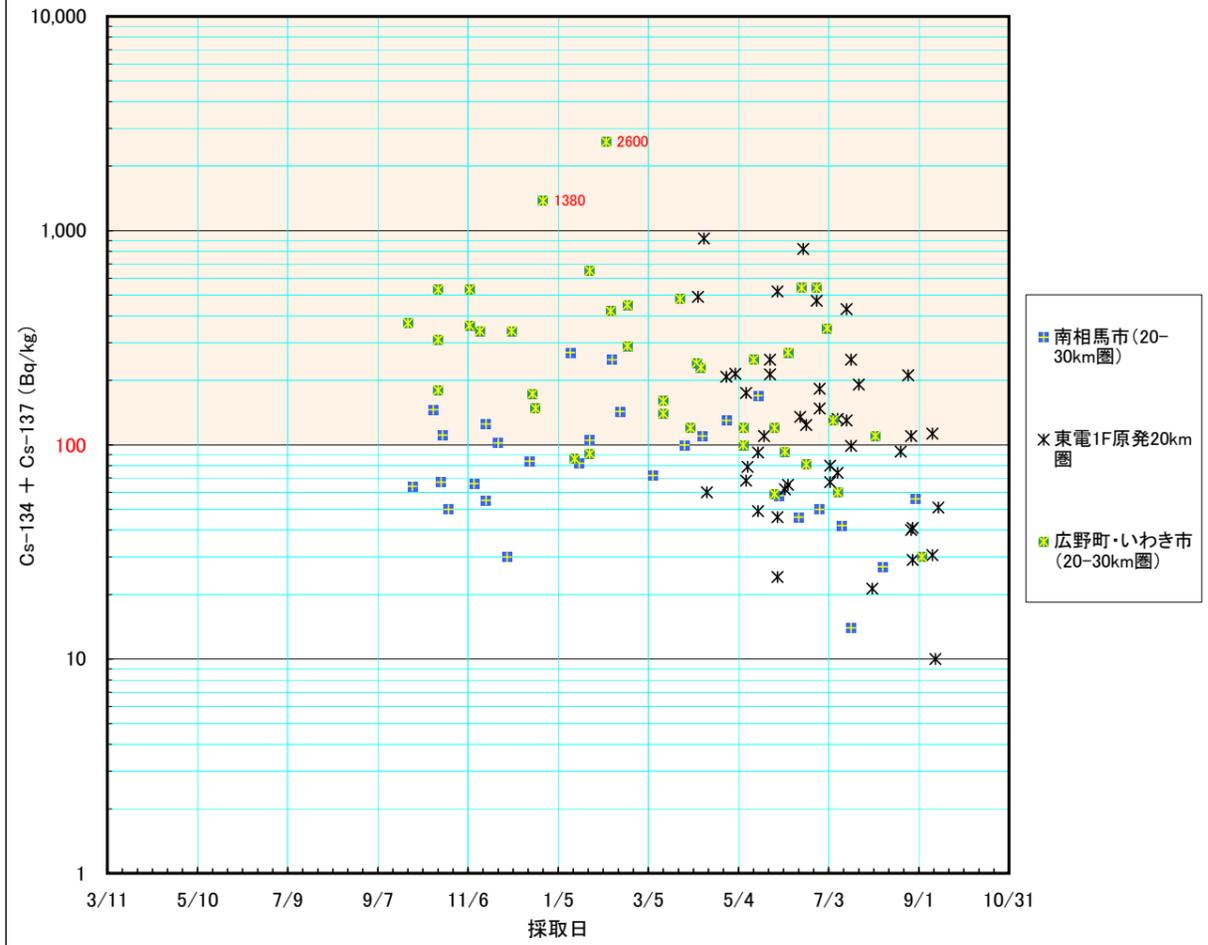
ヒラメ中のセシウムの放射能濃度（茨城以南）（9/30公表分まで）



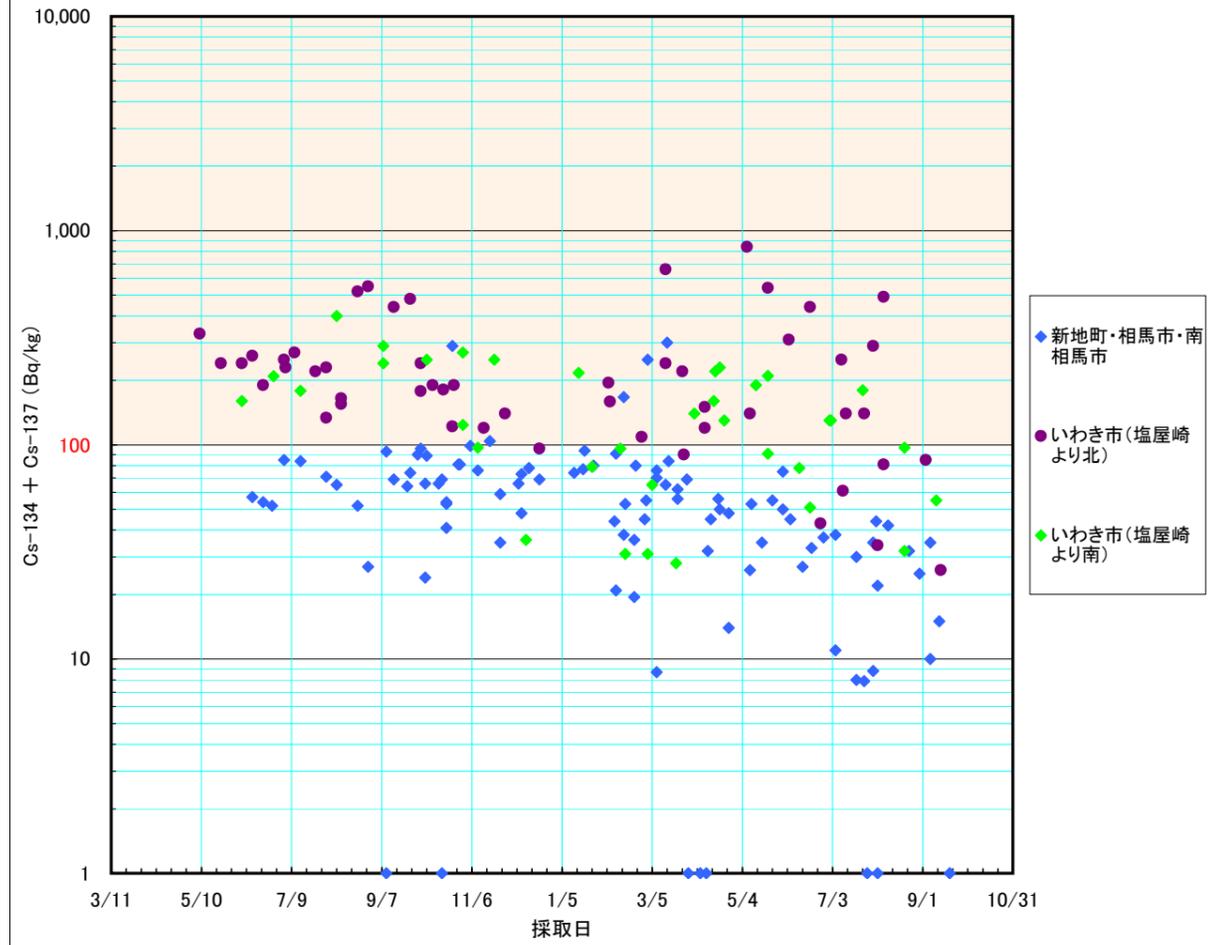
ヒラメのグラフ（福島以南、9/30公表分まで）

夏以降、落ち着きつつあるようではあるが、はっきりした終息の兆しは見られない。

マコガレイ中のセシウム放射能濃度（第1原発の30km圏内、9/30公表分まで）



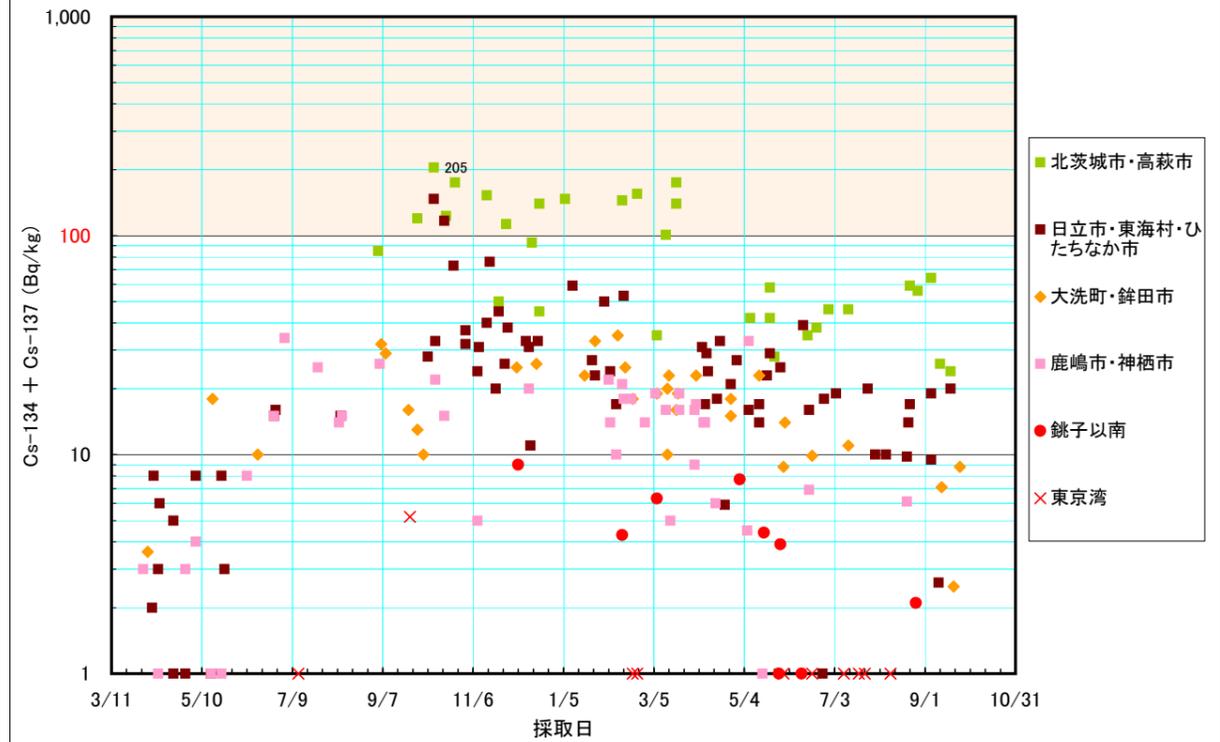
マコガレイ中のセシウム放射能濃度（福島県沖、第1原発30km圏の外側、9/30公表分まで）



マコガレイのグラフ（福島以南、9/30公表分まで）

夏以降、落ち着きつつあるようではあるが、はっきりした終息の兆しは見られない。

マコガレイ中のセシウム放射能濃度（茨城以南、9/30公表分まで）



海水と水生生物中の放射性ストロンチウム

昨年3月から4月にかけて、大量の高濃度汚染水が海に放出されました。

溜り水から推測すると、放出された汚染水の $^{90}\text{Sr}/^{137}\text{Cs}$ の比は、2号機で約5%、3号機で約9%程度と推測されます。

$^{90}\text{Sr}/^{137}\text{Cs}$ の比は、第1原発から離れた地点の海水で、約3~4%となっています。

現在では、第1原発の近傍を除けば、海水の ^{90}Sr 濃度は低くなっており、再度の流出がなければ、ゆっくりと事故前の濃度に下がってゆくでしょう。

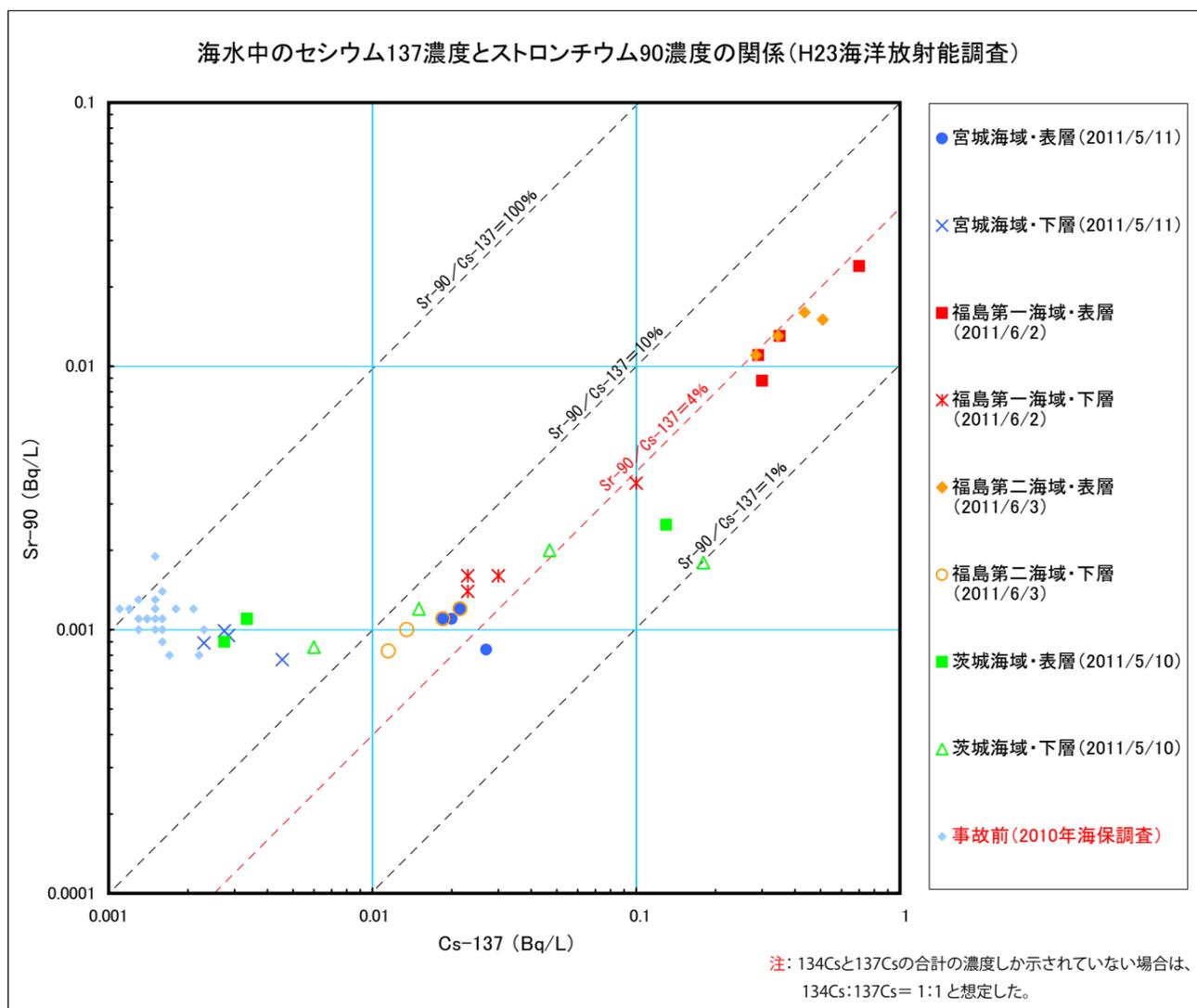
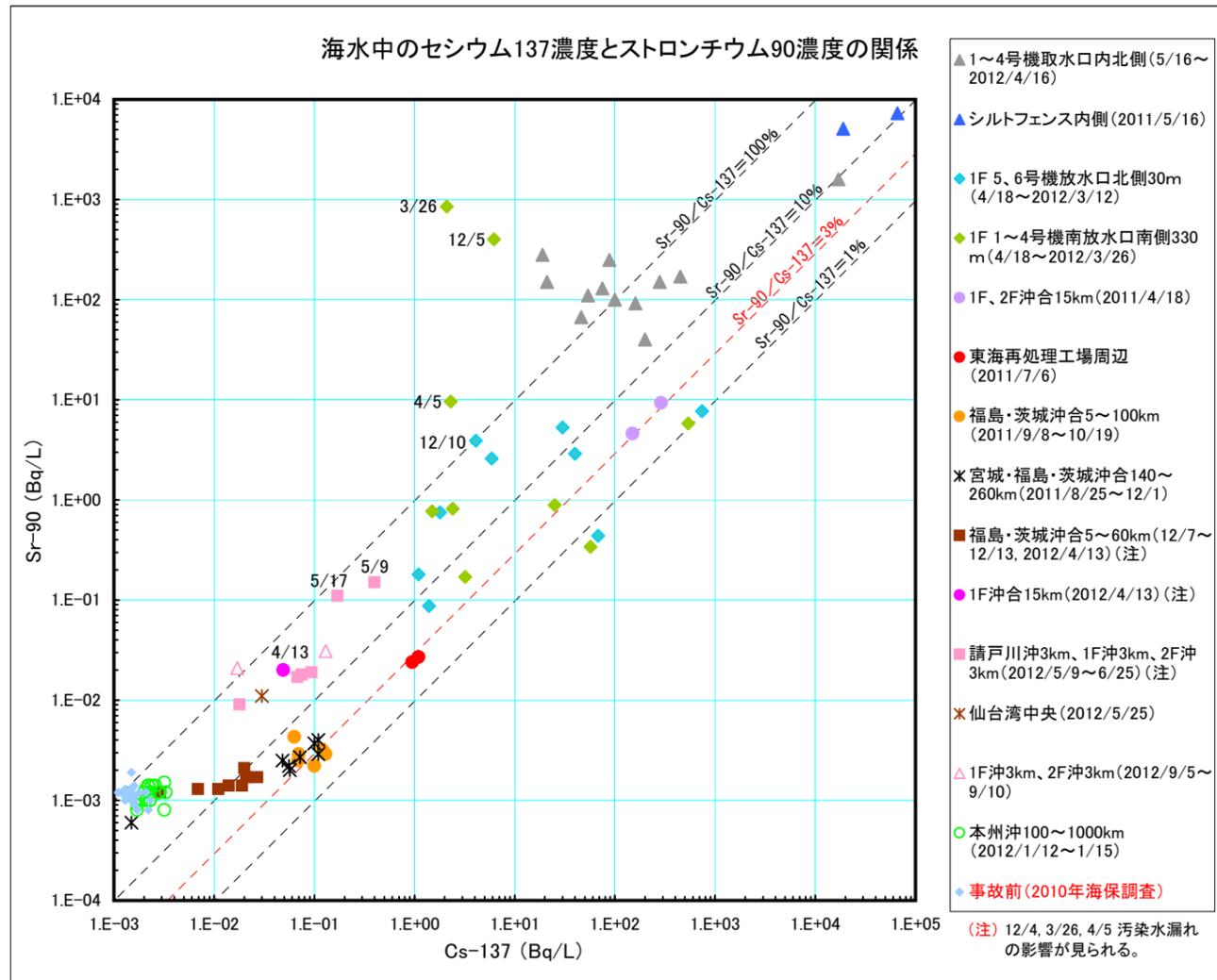
水産物中の放射性ストロンチウムの測定例も、ようやく増えてきました。(裏面参照)

海産生物中の $^{90}\text{Sr}/^{137}\text{Cs}$ 比は、貝類で0.1~0.9%、褐藻類で0.5~8.5%となっています。

(^{90}Sr と ^{137}Cs の「濃縮係数の比」は、貝類で約0.1、褐藻類で約0.6となっており、この結果もおおむねそれに従っているようです。)

魚類の $^{90}\text{Sr}/^{137}\text{Cs}$ 比は、海産魚で0.1~2.4%、淡水魚で0.1~1.2%となっています。

(海産魚では、シラウオだけが1%を超えています理由はわかりません。)



海産生物中の放射性ストロンチウム(水産総合研究センター、2012/5/11公表分まで)

No	種類	第一原発からの距離	採取場所		採取日	放射能濃度(Bq/kg)					90Sr/137Cs	備考		
			地点	経緯度		131I	Cs計	134Cs	137Cs	89Sr			90Sr	
1	マイワシ	南200km	犬吠埼南10km	35° 36' N 140° 53' E	2011/4/6	4.9	8.5	4.4	4.1	—	ND(<0.04)	<0.3%	Srは丸ごと、I.Csは筋肉のみ	
2	イカナゴ	南120km	ひたちなか市沿岸	36° 23' N 140° 39' E 周辺	2011/4/8	598	81	38	43	—	ND(<0.02)	<0.05%	Srは丸ごと、I.Csは筋肉のみ	
3	イカナゴ	南120km	ひたちなか市沿岸	36° 23' N 140° 39' E 周辺	2011/4/12	397	66	33	33	—	ND(<0.03)	<0.09%	Srは丸ごと、I.Csは筋肉のみ	
4	カタクチイワシ	南230km	九十九里沖45km	35° 22' N 140° 54' E	2011/4/14	ND	7.9	3.8	4.1	—	ND(<0.04)	<0.1%	Srは丸ごと、I.Csは筋肉のみ	
5	マダラ	北東50km	南相馬市沖合45km	37° 38' N 141° 33' E	2011/4/21	ND	34	16	18	—	ND(<0.04)	0.03	0.17%	Srは丸ごと、I.Csは筋肉のみ
6	アカガレイ	南110km	東海村沖35km	36° 28' N 141° 00' E	2011/4/22	ND	3.3	1.5	1.8	—	ND(<0.03)	ND(<0.03)	<1.7%	Srは丸ごと、I.Csは筋肉のみ
7	カタクチイワシ	南230km	九十九里沖10km	35° 21' N 140° 30' E	2011/5/26	ND	17.2	7.2	10	—	ND(<0.03)	ND(<0.03)	<0.3%	Srは丸ごと、I.Csは筋肉のみ
8	マイワシ	南150km	鹿嶋市沖12km	36° 03' N 140° 47' E	2011/6/22	ND	19.2	8.2	11	—	ND(<0.03)	ND(<0.03)	<0.3%	Srは丸ごと、I.Csは筋肉のみ
9	ゴマサバ	南190km	銚子沖40km	35° 45' N 141° 18' E	2011/7/1	ND	4.5	1.1	3.4	—	ND(<0.04)	ND(<0.03)	<0.9%	Srは丸ごと、I.Csは筋肉のみ
10	シロメバル	南25km	広野町沿岸	37° 13' N 141° 2' E	2011/12/21	ND	970	390	580	0.45	1.2	0.21%	Srは丸ごと、I.Csは筋肉のみ	
11	ムシガレイ	南東25km	榑葉町沖合18km	37° 15' N 141° 13' E	2011/12/21	ND	40	16	24	—	ND(<0.05)	0.094	0.39%	Srは丸ごと、I.Csは筋肉のみ
12	ゴマサバ	南東25km	榑葉町沖合18km	37° 15' N 141° 13' E	2011/12/21	ND	7.1	2.9	4.2	—	ND(<0.04)	0.03	0.71%	Srは丸ごと、I.Csは筋肉のみ
13	イシカワシラウオ	南25km	広野町沿岸	37° 12' N 141° 1' E	2012/1/18	ND	47	18	29	—	ND(<0.09)	0.4	1.4%	Sr,Cs共に魚体丸ごと

出典:(2012/5/11 水産庁/水産総合研究センター) <http://www.ifa.maff.go.jp/i/sigen/housvaseibussituyousakekka/index.html>

海産生物中の放射性ストロンチウム(東海再処理施設周辺調査)

No	種類	第一原発からの距離	採取場所		採取日	放射能濃度(Bq/kg)					90Sr/137Cs	備考	
			地点	経緯度		131I	Cs計	134Cs	137Cs	89Sr			90Sr
	貝類	南110km	久慈浜地先(日立市)		2011/6/23	—	28	14	14	—	0.025	0.18%	(数値はグラフから読み取り)
	貝類	南110km	久慈浜地先(日立市)		2011/7/11	—	28	14	14	—	0.02	0.14%	(数値はグラフから読み取り)
	貝類	南110km	東海村約10km以遠		2011/6/9	—	13	5.8	7.2	—	0.062	0.86%	(数値はグラフから読み取り)
	貝類	南110km	東海村約10km以遠		2011/8/25	—	5	2.3	2.7	—	0.02	0.74%	(数値はグラフから読み取り)
	褐藻類	南110km	久慈浜地先(日立市)		2011/6/7	—	27	14	13	—	1.1	8.5%	(数値はグラフから読み取り)
	褐藻類	南110km	久慈浜地先(日立市)		2011/7/8	—	33	16	17	—	0.5	2.9%	(数値はグラフから読み取り)
	褐藻類	南120km	磯崎地先(ひたちなか市)		2011/6/30	—	98	48	50	—	0.52	1.0%	(数値はグラフから読み取り)
	褐藻類	南120km	磯崎地先(ひたちなか市)		2011/9/30	—	40	19	21	—	0.1	0.48%	(数値はグラフから読み取り)
	褐藻類	南110km	東海村約10km以遠		2011/6/29	—	60	29	31	—	0.64	2.1%	(数値はグラフから読み取り)
	褐藻類	南110km	東海村約10km以遠		2011/8/1	—	44	21	23	—	0.22	0.96%	(数値はグラフから読み取り)

出典:(2011/11/25 原子力委員会資料) <http://www.nsc.go.jp/senmon/shidai/kanhou/kanhou014/siryo2-4.pdf> (リンク切れ)

海産生物中の放射性ストロンチウム(厚労省調査)

No	種類	第一原発からの距離	採取場所		採取日	放射能濃度(Bq/kg)					90Sr/137Cs	備考	
			地点	経緯度		131I	Cs計	134Cs	137Cs	89Sr			90Sr
	マダラ	南50km	小名浜沖水深120~300m	37° N 141° E 付近	2011/6/21	—	57.7	27.5	30.2	—	ND(<0.03)	<0.1%	90Srはアラ(頭部や骨等)の分析
	エゾイソアイナメ	南50km	小名浜沖水深120~300m	37° N 141° E 付近	2011/6/21	—	63.9	30.5	33.4	—	ND(<0.03)	<0.09%	90Srはアラ(頭部や骨等)の分析
	アカガレイ	南50km	小名浜沖水深120~300m	37° N 141° E 付近	2011/6/21	—	132.1	63.3	68.8	—	ND(<0.03)	<0.04%	90Srはアラ(頭部や骨等)の分析
	ミギガレイ	南50km	小名浜沖水深120~300m	37° N 141° E 付近	2011/6/21	—	27.3	13.2	14.1	—	ND(<0.03)	<0.2%	90Srはアラ(頭部や骨等)の分析

出典:(2012/2/24 厚労省資料) <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000023p4a-att/2r98520000023pas.pdf>

海産生物中の放射性ストロンチウム(環境省23年度冬季調査)

No	種類	第一原発からの距離	採取場所		採取日	放射能濃度(Bq/kg)					90Sr/137Cs	備考	
			地点	経緯度		131I	Cs計	134Cs	137Cs	89Sr			90Sr
	ツガルウニ	南30km	いわき市久之浜沖		1/13, 1/18	—	212	92	120	—	10	8.33%	殻を含めた分析
	ヒラメ	南30km	いわき市久之浜沖		1/13, 1/18	—	97	40	57	—	0.1	0.18%	
	アイナメ	南30km	いわき市久之浜沖		1/13, 1/18	—	192	82	110	—	0.6	0.55%	
	スズキ	南30km	いわき市久之浜沖		1/13, 1/18	—	260	110	150	—	0.12	0.08%	
	ヒラメ	南60km	いわき市勿来沖		2012/1/13	—	57	24	33	—	0.099	0.30%	
	スズキ	南60km	いわき市勿来沖		2012/1/13	—	50	20	30	—	0.028	0.09%	
	ウバガイ(軟体部)	南60km	いわき市勿来沖		2012/1/13	—	19.7	8.7	11	—	ND(<0.012)	<0.1%	ホッキガイ(軟体部)
	ウバガイ(貝殻)	南60km	いわき市勿来沖		2012/1/13	—	3.6	1.7	1.9	—	0.49	25.79%	ホッキガイ(貝殻)
	シラウオ	北70km	阿武隈川河口沖		2/22, 2/26	—	2.15	0.95	1.2	—	0.029	2.42%	

出典:(2012/7/2 環境省) <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=15419> 地図あり

淡水生物中の放射性ストロンチウム(環境省23年度冬季調査)

No	種類	第一原発からの距離	採取場所		採取日	放射能濃度(Bq/kg)					90Sr/137Cs	備考	
			地点	その他		131I	Cs計	134Cs	137Cs	89Sr			90Sr
	ニゴイ	北西65km	阿武隈川支流摺上川	大正橋	12/27, 1/12	—	350	150	200	—	0.41	0.21%	
	コイ	北40km	真野川		12/26, 1/11	—	190	80	110	—	1.1	1.00%	
	ウグイ	西北西80km	秋元湖		2011/12/21	—	167	76	91	—	1.1	1.21%	
	イワナ	西北西80km	秋元湖		2011/12/21	—	330	140	190	—	0.55	0.29%	
	ウグイ	北北西40km	はやま湖(真野ダム)		12/27, 1/11	—	1010	440	570	—	0.68	0.12%	
	オオクチバス	北北西40km	はやま湖(真野ダム)		12/27, 1/11	—	790	350	440	—	1.6	0.36%	

出典:(2012/7/2 環境省) <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=15419> 地図あり

20km圏の水産物中の放射性ストロンチウム(東電)

No	種類	第一原発からの距離	採取場所		採取日	放射能濃度(Bq/kg)					90Sr/137Cs	備考	
			地点	経緯度		131I	Cs計	134Cs	137Cs	89Sr			90Sr
	シロメバル		T-S5 木戸川沖合2km		2012/5/2	—	1880	780	1100	—	0.33	0.03%	筋肉部
	シロメバル		T-S4 1F敷地沖合3km		2012/5/25	—	1590	620	970	—	0.53	0.05%	筋肉部
	スズキ		T-S5 木戸川沖合2km		2012/4/7	—	1610	670	940	—	0.25	0.03%	筋肉部
	ババガレイ		T-S5 木戸川沖合2km		2012/4/11	—	1260	530	730	—	1.5	0.21%	筋肉部
	ババガレイ		T-S5 木戸川沖合2km		2012/5/2	—	1140	460	680	—	1.1	0.16%	筋肉部
	ヒラメ		T-S2 小高区沖合3km		2012/5/9	—	1190	490	700	—	0.12	0.02%	筋肉部

出典:(2012/9/28 東電) http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/images/handouts/120928_02-j.pdf
 モニタリング位置:(2012/10/1 東電) http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/images/handouts/121001_04-j.pdf